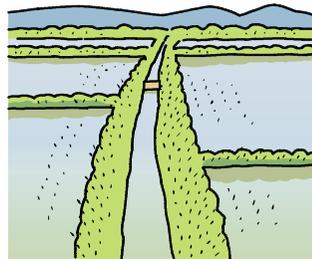


二十四節気のひとつである穀雨を過ぎ、田んぼには水が張られて田植えのシーズンとなりましたが、保護者のみなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2年次になって4月のスタートダッシュが大切であると前回お伝えしましたが、お子様の家庭での様子はいかがでしょうか。学力を伸ばし、部活動を充実させ、人間性を磨くために、生活に変化があったでしょうか。さらなる成長を図っていくために、保護者の方々のご協力を昨年度に引き続き、よろしく願いいたします。



### ◇課題テストに見る4月のスタートダッシュ

春休みに新学期の準備をして4月を迎えるとスムーズにスタートが切れるとお伝えしましたが、4月のスタートダッシュは図れたでしょうか。

新学期始めに課題テストが実施されました。春休みから課題テストに向け、コツコツ反復を繰り返して準備してきた生徒は高得点を取り、安定した答案を作成していました。数学は中盤層の生徒の得点率が上がっていて、1年次の進研模試の伸びをそのまま継続している感じがあります。英語は文法と単語力がまだまだ身に付いていないので、得点率は上がっておらず、全体の底上げが必要です。地道な努力を継続してください。国語は基礎基本となる古典文法の知識が、反復により例年より定着している感じがありました。現代文は記述問題に食らいついてくる生徒とあっさりとおきめしてしまう生徒に分かれました。

4月のスタートダッシュが図れなかった生徒は、GWで立て直し、「全国的に中だるみ」になってしまう2年次ですが、そのようなどんよりした気圧配置になるのではなく、「富西だけスカッと晴れ渡った雲ひとつない快晴」という高気圧に覆われる教室になるよう心がけてほしいと思います。

学校と保護者が協力して生徒たちをよりすばらしい方向に向かっていけるよう、

『成功』＝『学校』×『生徒』×『保護者』！

学校と保護者が意識を高く持って生徒を挟み撃ちにすると、生徒の意識も高くなり、常々申し上げている、「1+1+1=3」や「2+2+2=6」の足し算ではなく、人生がどんどん好転し、加速していく掛け算の、以前お伝えした公式が見えてきます。

「3×3×3=27」・・・『奇跡』の高校生活！

昨年度の進研模試の結果では数学が群を抜いて伸びましたが、お子様の成績はまだまだ大いに伸びる可能性があります。英語も国語も時間をかけてバランスよく学習してください。「自分がどうなりたいか『真剣』に思い、どうやったら成功に導けるかを考えて『真剣』に行動する」ことです。

昨年度、スタディ・サポートの「学習状況リサーチ」の中で【学習行動】・【学習方法】・【学習のとらえ方】を細かく分析し、学力層ごとに身につけておきたい学習行動を紹介しました。再度確認しますと、

《 【学習行動】では、生徒の学習状況を「習得型」「課題克服型」「仮説検証型」の3つの学習行動に分類し、それぞれの生徒の状況を測定しています。学力を伸ばすうえで、優先的に取り組むべき学習行動は学力層によって異なるということです。

【学習方法】では、学力と相関関係の高い国語・数学・英語それぞれの学習方法について測定しており、生徒の教科学習方法の強みや課題点を把握することができます。

【学習のとらえ方】では、生徒のこれまでの学習歴によって形成された学習に対する考え方について測定しており、生徒の「学習のとらえ方」の特徴を確認することができます。

Aゾーンの生徒がSゾーンを目指すためには「仮説検証型」の学習スタイルを身につけることです。

仮説検証型の学習とは、予習をして授業ではその考えを学ぶといった「仮説を立てて検証する」学習ができていないか、学習に優先順位をつけることができるかを測定して判断しています。設問例としては、次の項目が当てはまります。

- ・各教科の授業の予習への取り組みができていない
- ・何から学習をしたら良いか順番を考えるようにしていない
- ・授業に目標や目的を持って取り組んでいる
- ・計画や目標を決めて学習をするようにしていない

Bゾーンの生徒がAゾーンを目指すためには「課題克服型」の学習スタイルを身につけることです。

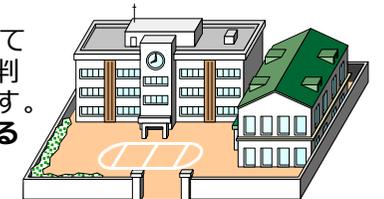
課題克服型の学習とは、テストの見直しや失敗に学ぶ学習ができていないか、問題解決のパターンが使えるかを測定して判断しています。設問例としては、次の項目が当てはまります。

- ・各教科の定期試験後の復習ができていない
- ・学習の計画が上手く進んでいなければ見直すことができる
- ・疑問点は先生や友人に質問して解決できている
- ・重要なところがどこかを考えて学習するようにしていない

C・Dゾーンの生徒がBゾーンを目指すためには「習得型」の学習スタイルを身につけることです。

習得型の学習とは、宿題・復習など日々の学習ができていないか、基本的な学習習慣が身についているかを測定して判断しています。設問例としては、次の項目が当てはまります。

- ・各教科の宿題・授業の復習への取り組みができていない
- ・各教科のノートがきちんと取れている
- ・各教科の学習内容（宿題・復習を行っている）
- ・帰宅後学習を開始する時間（継続的学習ができる）が決まっている



### ◇4月30日は中間考査2週間前！

1学期の中間考査は5月14日(月)から16日(水)までの3日間で実施します。授業時間数が少ないこともあって試験範囲はそれほど広くはないのですが、こんな時こそ【学習行動】を見直したうえで基礎基本の反復、教科書・ノート・資料集等を隅から隅まで何度も見直し、得点に結びつくように心がけてほしいものです。本年度から反復学習の原点となった「コンパス」が実施されなくなりましたので、自学自習の中で繰り返し確認して、中間考査に臨んでください。

### ◇5月13日(日)はPTA総会！

5月13日(日)はPTA総会になっておりますので、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加していただきたく存じます。午後からはHRごとの面談時間もありますので、その時に3月に実施しましたスタディ・サポートの詳しい資料をご用意いたしますので、奮ってご参加ください。

※5月10日(木)、11日(金)は前期諸経費の納入日になっております。出費多端の折ではありますが、よろしく願いいたします。

※次回の年次通信はスタディ・サポートの分析を中心に、PTA総会の13日を予定しています。